

ヤクスギランド入口

ヤクスギランドは、屋久島で巨大な杉の原生林を体験するには最適な場所であるだろう。270ヘクタールの園域は、島内の他の杉の木が多数伐採された江戸時代（1603～1867年）において伐採活動が行われたことは比較的少なく、最も離れた箇所においては、現在では原生林とみなされるまでに回復している。

標高1,000メートルから1,300メートルのこの公園には、5つのハイキングコースがある。どのコースも樹齢千年の屋久杉や樹齢千年未満の小杉の間を通る。

30分と50分のコースは木製の遊歩道や石の小道でよく整備されており、ハイキング初心者や子供や足の不自由な人にも適している。より長い80分、150分、210分のコースは未舗装の林道へと続き、より難易度が高めになる。210分のコースは、太忠岳（標高1,497m）に続く長いルートにつながっている。

トレイル沿いの見どころ

どのコースでも、雄大な千年杉や双子杉を通る。途中には、切り株更新（切り株から別の木が生え育つこと）や土埋木（伐採業者が伐ったまま廃棄した屋久杉の一部分）の例をいくつか見ることができる。遊歩道は、アーチ状になっているくぐり樺やくぐり杉の幹の下を通過する。また、ハイカーは荒川にかかる吊り橋も通る。

80 分のコースで加わるハイライトには、急流と、花開く時期には花飾りで色付く巨石のあるつつじ河原がある。150 分のコースを行くと、樹齢 1,500 年になる天柱杉や、樹齢 2,600 年の 2 本の杉の幹が根元でつながっている母子杉が見られる。約 210 分のコースを行くと辿り着く天文の森は森林再生研究の重要な研究エリアであり、あまり目にすることのない大杉や青々とした苔が見られる。杉の木々に加えて、ヤクスギランドにはモミ、ツガ、ヤクシマシャクナゲ、サツキ、数種類のつつじなど、数多くの針葉樹や広葉樹がある。

さらに進む

天文の森からは、往復で 8 キロ、所要時間 6 時間から 7 時間ほどかけて太忠岳（標高 1,497m）に登ることができる。山頂には、まるで巨大な釘のように山頂から突き出た高さ 40 メートルの花崗岩の柱が特徴的な天柱石がある。太忠岳に向かうハイカーは午前 7 時までにはここを出発したほうがよい。。屋久島のこのあたりでは共通のことだが、大雨が降ると登山道は非常に危険な状態になる。山頂まで行けない場合でも、(天候次第では)駐車場の北西方向に太忠岳の山頂と天柱石を眺めることができる。

注意事項

ヤクシマザルやヤクシカ、あるいは様々な種類の両生類や昆虫類、鳥類がこのエリアには生息している。国立公園内の動植物保護のため、ハイカーは常にトレイル内を歩くことや動物に餌を与えないこ

と、水源を汚さないこと、苔を踏みつけないこと、またはゴミを残さないことを要求される。許可されていない場所でのキャンプ、森林内での火起こし、生き物を捕まえたり傷つけたりすることは、すべて法律で禁止されている。

島の天候は急変することがある。トレイル沿いでは落枝や落石に注意。携帯電話はほとんど通じないが、エリアによっては電波が入るところもあるので、ハイカーは緊急時に備えて電話を携帯しておくとうい。

150 分コースと 210 分コース上の倒れた縄文杉の付近やつつじ河原付近、そして天文の森には携帯トイレのブースがある。緊急用に携帯トイレパックを持参することが推奨される。水洗トイレは、ヤクスギランド入口近くの休憩所兼売店「森泉」にもある。